

コラム:25 近況メール '13 夏

('13・8・15)

ゴーヤーの 緑の向こうに 空の青



今年の夏の暑さはすさまじいですね。「猛暑」という言葉を越えて、「経験したことのない暑さ」とでも表現すべきなのでしょう。私の方は、ゴーヤーの料理とゴーヤージュースのおかげか、夏バテもなく元気でやっております。なにしろビタミンCが、レモンの5倍あって、熱を加えてもこわれない、といえますからね。(コラム:16ゴーヤの話 参照)しかし、この暑さですから、主に午前中と夕方に外の仕事をして、熱中症にならないようにしています。ですから、暑い日中はパソコンの前で昼寝ですよ。

私の夏の日課は、朝は5時に起床。まずは牛乳とバナナで腹を満たし、明るくなったところで、作業開始。最初にやることは、ゴーヤやトマトなどの取り入れ、それからイチゴ苗や野菜、花壇への水やりです。そうそう、今年も盆前までは、子供たちのラジオ体操に参加しました。今年で3年目ですね。(コラム15:ラジオ体操 参照)夏休みが始まって、盆前で終わるのは例年どおりですが、今年は少し違っていました。開始時間が7時になっているんですよ。ラジオは6時半ですから、録音テープを流すわけです。それも最初の歌と中間の首の運動をカットして、第一と第二の体操部分だけに編集したものです。遅い時間にしたのも、早く終わるようにしたのも、おそらく父兄の都合でしょう。これでは、いつか日本の夏の風物詩「夏休みラジオ体操」は消滅してしまうかもしれませんね。

私たちの時代には、大人に頼らないで、「子供会」で自主的にやっていたものです。今ですか？毎朝休まずに、ハウスの横で、田んぼと山に向かってやっていますよ。一人ぼっちのラジオ体操は、少々寂しいものがありますが、遊戯ではないですから、軽く汗をかく位、大きく力強く、かつ真剣にやらなくてははいけません。体力養成にはなりません、普段使わない体の動きをしますから、肩こりや、腰痛には効果がありますよ。



7月に、神戸から帰省した長男の誘いで、孫娘を連れて、久しぶりの野球観戦に行きました。(コラム13:野球観戦 参照)この時は、中日戦、3-0で勝利。勝ちゲームは気分がいいいもんです。去年は泣いて眠ってばかりいた孫が、今回はカープユニフォームを着て、応援バットをたたいて、喜んでいました。まだ二歳半で、ゲームはわからなくても、掛け声やラッパあり、さらに歌や風船ありで、賑やかな球場の雰囲気が気に入ったようです。カープの応援歌も覚えてきて、♪～カープ！カープ！カープ広島！広島カープ～♪・・・と歌ってくれます。こんな幼いカープファンのためにも、熾烈な(?)三位争いを勝ち取ってほしいものです。ちなみに息子は、「この球場は、男子トイレに、オムツを換えるトコがあるのがエエわ」と言って喜んでいました。きれいなだけじゃなくて、心配りも十分で、ええ球場ですね。そうそう、9月には友人の誘いで、パーティデッキ席で観戦予定です。又しても中日戦ですが、私の楽しみは、ゲームより生ビール、そして「球場の雰囲気」なのですよ。



先月の終わりごろ、ささやかな出荷と仕入のために、久しぶりに古巣の市場に行きました。退職してから、かなり経ちますから、元の勤務先とはいえ、行くたびに「敷居の高い」感じになりますね。「何しに来たんじゃ」という視線が気になるんですね。しかし、多くの人に気持ちよく声をかけてもらうと、懐かしく、うれしいもんです。久しぶりに「若いモン」と雑談をかわして、楽しかったのですが、少し気になることがありました。退職して4年近くになるせいでしょうか、「年寄り」あつかいされるんですよ。曰く、「年なんじゃけえ、無理せんようにせにゃあ」とか、「いい余生を送ってくださいよ」といった言葉に、ひっかかるんです。「なんかおもしろくない」という気持ちになるんです。

「♪～村の渡しの船頭さんは 今年六十のオジイサン～♪…嫌な童謡だねエ」

永六輔「大往生」より



私自身は、自分の人生の残りを楽しむとか、自分が年を取った、といった意識がないのです。イチゴ栽培などの農業をやっていると、一年を通じて仕事があり、今やるべきこと、これからやらなくてはいけないことを、いつも考えているからかもしれません。「オッサン」と呼ばれても、「オジイサ

ン」とは呼ばれたくないものですよ。神戸の孫娘には、「ヒロシマジイジ」と言われて喜んでいますがね。ちなみに、今の私の仕事は、イチゴ苗のランナーカットが終わり、水やりと消毒をしつつ、ハウス内の太陽熱消毒をしています。これから肥料と土の準備をして、9月中旬には苗の植え込みの予定です。

「いたわってくれんと ハブテルし、へたに同情すると、馬鹿にしとるいうて怒る。
年寄りいうなあ、あつかいにくいもんよのう」

(’13・8・15)